

平成26年度
戸田市予算編成における重点施策の要望書

戸田市議会会派 戸田の会

酒井 郁郎

真木 大輔

金野 桃子

中山 祐介

平成25年10月1日

戸田市長 神保 国男 様

平成26年度戸田市予算編成における重点施策の要望書

東日本大震災から約2年6か月が過ぎ、いまなお、復興そして未来の発展へと、皆が心をあわせて取り組んでいます。また、本年は竜巻、台風、集中豪雨などの自然災害が相次いで発生し、日本各地に甚大な被害を及ぼしました。

国政においては、先般の衆議院議員総選挙、参議院議員選挙にて自民党が圧勝し、衆参両院における第一党に座しています。消費税に関して今後段階的な税率引き上げが予定されていることなどから、税金の使われ方についての国民や市民の意識は日々高まっているところです。

同時に、市民生活向上のために、基礎自治体である市町村の果たす役割は非常に重要になっており、将来を見据えた適正な行財政運営が求められています。

このような中、本市の神保国男市長は、「みんなでつくろう 水と緑を活かした 幸せを実感できるまち とだ」という将来都市像を掲げ、市民とのパートナーシップを基本とするまちづくりを進めてこられました。そして、平成25年9月定例会において、5期目への立候補を表明されました。

私たち戸田の会は、二元代表制の一翼を担う議会の一員として、旧来の対立構造にとらわれない新しい感性を持って、試行錯誤しながらも日々戸田のために活動しています。私たちは、会派理念として「必要な政策を実現する」「皆さんの声を市政に反映する」「公平な市政を実現する」ことを掲げ、市民の期待に応えるべく活動する中で、このたび市民生活向上に資すると考える事項を「平成26年度戸田市予算編成における重点施策の要望書」としてとりまとめました。

今後より一層の厳しい財政状況が見込まれる本市ではありますが、特段のご配慮を賜りますよう、ここに要望いたします。

戸田市議会会派 戸田の会
代 表 酒井 郁郎
副代表 真木 大輔
副代表 金野 桃子
副代表 中山 祐介

行政改革

● 人事制度改革

優秀な人材の確保と育成に向けて、採用戦略の立案、職員の研修や勉強機会の増強、民間企業との人事交流の活発化、人事評定の公平化と実力主義の推進を図ること。

● 行政運営の効率化

行政運営のより一層の効率化に向け、コストの一括管理を行う調達責任者（CPO）の新設や公有財産の有効利用・統廃合の推進を図ること。

● 行政運営の透明化

入札業務の改善へ向け、コスト削減、質の確保、市内業者の育成などの視点で継続的な検討を行うこと。また、行政コスト情報の透明化に向け、予算・決算審議における事業別予算情報の提供、予算編成過程の公表、市民にとっての分かりやすさに配慮した情報提供の拡充などを行うこと。

● 住民が参加できる市政運営の推進

市政運営に対して住民の意見を十分に反映できるよう、住民投票を条例化し、また審議会・協議会等への市民委員の参加を原則とすること。

● 口利き防止条例の制定

行政・議会関係者等による公共事業受注や職員採用等への口利きの禁止や、要望事項の公表を定めた条例を制定すること。

子育て・教育

● 子供の遊び場の確保、子供連れで集まれるスペース作り

子供たちが放課後や長期休暇中に集団でボールなどを使ってのびのびと遊べる場所を確保すること。また、子育て世代が子供を連れて集まることが出来る公共スペースを増やしていくこと。

● 小中一貫化による公教育の充実

小中連携の推進により学習指導と生活指導における一貫性の向上を図ること。更に、小中一貫化を実現すること。

● 放課後学習・協調学習などの教育プログラムの充実

放課後学習のカリキュラムを充実させ、また協調学習などの教育プログラムを適宜取り入れることで、従来の学力だけでなく活用力などの新しい学力の養成を図ること。

● 図書館の利便性の向上、コミュニティ空間としての図書館へ

利用者目線に立った機能改善を図ることで図書館の利便性を向上し、また多くの世代が気軽に集う心やすらぐ図書館となるよう進取的な改革を行うこと。

● 学童保育室民間事業者への補助充実や連携強化

学童保育室民間事業者への補助制度を実態に見合うものに改善し、更に公立学童保育室・民間学童保育室・学校間の連携を密にすること等により、学童保育全般の質向上を図ること。

● 教職員や保育士、指導員によるわいせつ・体罰などの不祥事防止

小中学校や保育所、学童保育室などにおける、職員によるわいせつ・体罰の防止を目的とした、実践的な職員研修やガイドラインの作成等に取り組むこと。

医療・福祉

● 予防医療の推進

健診・検診項目や受診体制を市民ニーズに合わせることで更なる受診率向上を目指すとともに、適切に二次検査を促すこと。また、各種データから得られた結果を効果的に政策に反映し、市民の健康増進や医療費削減の意識を持って予防医療の推進を図ること。

● 地域医療体制の充実

かかりつけ医と中核病院との機能分化および連携を図り、症状に合わせた適切な治療が受けられる体制を整えること。また、保健師ら行政機関と民間医療機関との連携を図り、地域医療体制の充実を行うこと。

● 24時間地域巡回型訪問サービス導入による在宅介護の充実

病院から住み慣れた地域に戻れるよう、24時間地域巡回型訪問サービスを導入するなど、家族の負担を軽減できる在宅介護制度の充実を図ること。

● 生活保護受給者・受給世帯の児童生徒への自立支援

生活保護受給者への就労支援や受給世帯の児童生徒への学習指導を充実させ、貧困の連鎖の防止を図ること。

● 障がい者の自立支援と家族支援

特別支援学級の充実や障がい者雇用の拡大など、障がいを持っていても自立して生活できるようにするための支援に力を入れるとともに、障がい者家庭へのサポートによる家族の負担軽減にも力を入れること。

生活・経済

● マンション住民の災害対策強化

行政と市民とが一体となった防災体制の構築のため、特にマンション住民など、町会未加入者の災害時ネットワーク強化を図ること。

● 新規開業者、NPO・市民団体への支援

起業支援や市事業の委託などにより、新規開業者、NPO・市民団体への育成支援を拡充し、産業の活性化や市民活動の促進を図ること。

● 成長分野に重点を置いた産業育成

小規模製造業など成長分野の企業群を戦略的に誘致・育成すること。

● 歩行者・自転車・自動車が共存する環境の整備

歩行者にやさしく、自転車や自動車も安心して通行できる道路環境の整備を推進し、同時に交通ルールの周知や教育にも力を入れること。

● 「週末戸田カフェ」の実施

駅前をはじめとする公共スペースの開放や集いの場づくりを工夫し、週末などの余暇時間における街のにぎわいの創出と市民の福利向上とを図ること。